

添付資料2 これまでの経緯

1992年3月 (平成4年)	県が京葉港二期地区270ヘクタールの土地造成計画を位置付ける
1993年3月 (平成5年)	県が市川二期地区470ヘクタールの土地造成計画を位置付ける
1993年3月 (平成5年)	県が千葉県環境会議に、「市川二期地区・京葉港二期地区土地造成計画に係る環境保全計画書」を提出
1995年11月 (平成7年)	千葉県環境会議から県に対して「市川二期地区・京葉港二期地区土地造成計画に関する環境保全のあり方について」の提言が出された。
1996年1月 (平成8年)	補足調査の現地調査開始(平成9年11月に現地調査終了)
1998年5月 (平成10年)	補足調査専門委員会から「現況把握の中間とりまとめ状況」を県に報告
1998年6月 (平成10年)	知事が「市川二期地区・京葉港二期地区土地造成計画(740ヘクタール)」の見直しを表明
1999年6月 (平成11年)	県が市川二期・京葉港二期地区計画の「見直し案」101ヘクタールを発表
2001年3月 (平成13年)	千葉県環境会議から県に対して「市川二期地区・京葉港二期地区土地造成計画に係る具体的な計画案に関する環境保全のあり方について」の見解が出された
2001年4月 (平成13年)	堂本知事が就任し、101ヘクタールの埋立計画を白紙に戻すことを表明
2001年8月 (平成13年)	県が三番瀬シンポジウムを開催(9月に2回目開催)
2001年9月 (平成13年)	知事が101ヘクタールの埋立計画は行わないことを再度表明
2001年11月 (平成13年)	知事が(仮称)三番瀬再生計画検討会議を設立することを表明
2002年1月 (平成14年)	県が三番瀬再生計画検討会議(三番瀬円卓会議)を設立